回　覧

庄内町議会主催

町民模擬議会のご案内

開催予定 ⇒ 11 月 16日（日）　午前9時15分開会
開催場所 ⇒ 庄内町役場 A 棟4階　議場

［趣旨］

町民模擬議会は、皆さんの視点で町に質問することで、今後のまちづくりに生かすとともに、町政と議会に関心を深めていただくことを目的としています。質問時間は、町長の答弁を含め一人 30 分程度とします。

檜 山 喜美一 議員

1　ふるさと納税について
⑴　ふるさと納税の寄付額と返礼品の状況はどのようになっているのか。
⑵　今後の寄付額の増加は企画の勝負だと思うが、どのように企画を決定しているのか。
2　シニアわくわく応援チケットについて
⑴　シニア応援わくわくチケットの現状と今後の見通しをどのように見ているのか。
⑵　この事業も２年目となるが、協力事業者や利用者からの反響など、どのように検証しているのか。また、改善等を考えているのか。

塩 野　 誠 議員

1　学校教育について
夏休みや冬休みの長期休業について、実施するようになった背景に冷房が未整備だった時代や一般家庭での学校外教育を推奨するものだったと認識していますが、現状の家庭事情とは大きく乖離していると思うがどうか。
⑴　共働き、核家族による食事、安全、自宅に長時間いることでのエアコン使用の電気代増やそれに伴う環境負荷を行政ではどう考えているか。

⑵　学童保育は低学年には有効だが、中･高学年には単なる遊びの場でしかなく、飽きて行かなくなり、結局、家に一人でいる機会が増えるのではないか。
⑶　生活の乱れ、学力格差にもつながり、現状のメリットはあまり無いと感じられるがどうか。
⑷　夏休みを短縮し、短縮した期間で補修、ＡＬＴ、地域大学や高校と連携した学習等に充てたらどうか。
⑸　小学校４～６年生を対象にコメッチ等を利用し、学習以外を学ばせるとか。また中学生１～３年生には、体験活動等、将来を見据えた活動等を行ってはどうか。

２　産業、観光について

第 2 次庄内町総合計画後期基本計画の重点構想について、[産業活力日本一のまちづくり構想]を重点構想①として方針を出していますが、産業の中心は「人」だと考えます。移住･定住を促進するとしているのはとてもいいと思いますが、そもそも庄内町に移住するメリットは何なのか町長の考えを伺いたい。また他市町村と比較しての優位性についてどうか。

３　施政方針について

いくつか重点構想として掲げていますが、すべてに「日本一」とあります。風呂敷広げ過ぎではないか。町長が一番に力を入れたいのは何か。

関 口　由 美 議員

１　本町における健康診断の取り組みについて

令和6年度の本町における集団健診、人間ドック、がん検診の取り組みについて、以下の点についてはどうか。

⑴　集団健診(特定健康診査)の対象者数、受診者数、受診率、及び特定保健指導の状況。
⑵　がん検診項目別の対象者数、受診者数、受診率、及びがん患者に対する支援事業と状況。

２　本町のデジタル化について

従来の健康保険証は、令和6年12月2日以降マイナ保険証を基本とする仕組みに移行し、マイナポータルの接続で、過去5年間の健康診断や医療情報の確認ができるようになった。また、窓口での高額医療費の申請手続きが不要になった。

本町のスマートフォンの利用によるLINE手続きやQRコード読み取りによる「待たない、書かない、行かない」窓口サービスで便利になった。以下の点についてはどうか。

⑴　本町で推奨しているxID(クロスアイディ)とは何か。
⑵　LINE、ｘID、マイナポータルの違いは。また、今後どう活用していくのか。

飯野　つや子 議員

１　障がい児者を持つ保護者に対する支援体制について

⑴　核家族が増え個人情報保護法等の影響で、悩みを抱え孤立している保護者がいるのではないかと思われる。町としてどう把握し取り組んでいるか。

⑵　現代はネット社会であると同時に、大変忙しい時代である。障がい児者を持つ保護者も仕事をしていたり子どもの世話などで忙しく、誰かに相談する時間を作るのも大変である。集まって愚痴を言い合ったり、聞いてあげたりすることが重要だと思うがどうか。

⑶　これまで障がい児者を持つ保護者会として活動してきた。当事者しかわからないことはたくさんあるが、保護者の方々と交流することで得られたことは多くあった。各保護者の考え、思いはわからないが、町が積極的に中に入り橋渡しの役を担ってほしいと思っているがどうか。

正午～午後１時００分　休憩

堀 井　沙 織 議員

１　町内小・中学校特別室のエアコン設置について

文部科学省の令和6年9月のエアコン設置の実施調査によると、全国の公立学校施設(小･中･高を含む)のうち、特別室のエアコン設置率は68.7%、体育館は22.1%の設置率になっている。また、近年では35度以上の酷暑と言われる日も連日観測されている。このような状況から、特に小･中学校特別室へのエアコン設置を早急に行うべきである。未来ある子どもたちのために設置すべきでないか。

２　給食費の無償化について

庄内町ではランドセル贈呈等が実施されているが「経済的負担の軽減」になるのは、子どもにかかる毎月の負担を減らすことである。文部科学省の令和6年6月公表のデータによると、全国1,794自治体のうち、775自治体となる約4割強がすでに給食費の無償化を実施している。近隣では令和6年10月に青森県がすべての公立小中学校で完全無償化を実施している。これらの現状を受け、庄内町の今後の取り組みについてはどうか。

菅 原　一 彰 議員

１　地域づくりの人材育成について

各地区の地域運営組織が発足し、センターの指定管理によって各種事業を展開しているが、町としては、まちづくりに係る人材育成をどのように取り組んでいこうとしているのか。

２　人口減少による集落維持について

出生率の低下や都市部への一極集中により、少子高齢化は全国的な課題となっている。立谷沢地区においても、これは集落の維持に関わる重要な問題である。若い世代にも地域に残ってもらえるような新たな対策が必要と考える。町としてどのような集落維持策を考えているのか、伺いたい。

３　鳥獣被害対策について

⑴　立谷沢地区では、熊による人身事故も発生し、町内各地で熊の出没が確認されている。今年はエサ不足により、山から里へ熊が移動していると言われている。山林や丘陵地が

多い立谷沢地区では、熊との共存を見据えた新たな対策が必要ではないかと考えるが、これについてどのような認識か。

⑵　水田の畦畔崩壊が各所で見られるようになっている。この対応についてどのように考えているか。

岡 部　一 宏 議員

１　各種事業等の申請について

庄内町定住応援住まいづくり補助金制度等の申請手続きの住民票や納税証明書などの提出を簡素化することはできないのか。

２　幼稚園の今後の在り方について

⑴　各小学校を統合した後の幼稚園をどのように整備していくのか。

⑵　幼保一元化として保育園と統合することも考えているのか。

３　町内の憩いの場の整備について

⑴　町内で、子どもを連れてランチできる公園を整備すべきではないか。

⑵　町湯は温泉施設として、規模も湯量も不十分だ。源泉を含む旧梵天の土地を購入して、新たな温泉施設として再整備すべきではないか。

⑶　役場B棟の１Ｆにある「こっころ」は施設として中途半端に思える。旧梵天の土地を購入して、温泉施設と共に幼児･児童が遊べる新たな屋内施設として再整備すべきではないか。

～　庄内町議会　町民模擬議会　ぜひ傍聴においでください　～

★　都合により日程が変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
★　各公民館、図書館のロビーでも議会中継をご覧になれます。
★　ご自宅のパソコンでもご覧になれます。**庄内町のホームページ**からアクセスしてください。

①トップページの左側のバナーをクリック！

②「議会中継」をクリック！

★　スマートフォンやタブレットでも議会中継が視聴できます。
★　**生配信のみとなりますので是非ご覧ください。**

お問い合せ　　庄内町議会事務局　　TEL　４２－０１８８／４２－０１８９